



専攻医の声 Q&A



総合診療科
3年次
藤本 拓也

Q プログラムの特色を教えてください。

A 4年間の研修で総合診療科、内科の2つの専門医取得を目指すことができ、内科系のみならず全診療科が取得を応援してくれます。内科研修での診療科選択の自由度も高く、多彩な疾病に触れる機会が得られます。連携施設も多彩で、学びの幅を広げてくれます。半年間の近隣クリニックでの地域研修では、クリニックのその先である地域の中核病院で自分がやるべきことを再確認する経験を重ねる機会を得ることが出来ました。

Q この病院で研修を受けて良かったことは？

A 一番は温厚な人柄の先生が多く、心穏やかに充実した毎日を過ごせていることです。各診療科での研修で多くの手技を経験、身につけることが出来、一人に対応可能となるまで指導いただける機会を得られます。

自身の経験例では、小児科では乳幼児のルート確保、腸重積の対応、消化器内科では内視鏡手技を、血液内科では骨髄穿刺、腰椎穿刺、関節穿刺、生検、Aライン確保、CV挿入、PICC挿入等の手技を指導いただけ、さらには化学療法について学ぶことが出来ました。

多くの経験により余裕を持って診療に臨めるようになり、患者さんとの距離が縮まったと感じます。